

2016年10月31日

2016年度上期決算説明会 質疑応答集 (10/28 日本証券アナリスト協会 15:30~)

- ◆ 2Q 受注増の中身は?
 - 車載分野での受注増が主。具体的には、①1Q 商流変更の反動、②国内の新機能搭載車が好評、③順調なアメリカ市場によるものである。

- ◆ 15/下から 16/上の利益構造強化について、下期継続は可能か?
 - とりわけ年金改革や商流変更は構造的なものであり、継続性がある。合理化についても下期に一層の積上げを図る。

- ◆ 15/下から 16/上の売上構成による 3,800 万円の営業利益増は、いわゆるプロダクトミックスか?
 - 比較的利益率の高い FA 分野の売上が、15/下比で 2 億円ほど増加した為、プロダクトミックスが良化した。

- ◆ 車載事業のアドバンテージは何か、また今後のシェア確保の施策は?
 - 当社の強みは開発スピードであり、他社との差異化要因となっている。
 - 新規顧客の開拓が、今後のシェア確保の鍵を握っている。

- ◆ 今後の車載カメラ用コネクタの、供給量、設備投資についての今後の見通しは?
 - 車載カメラ用コネクタは、年 20%の数量増を予測している。今後の需要増に対応すべく、来年度に工場投資を考えている。

- ◆ 車載分野の技術は、FA 分野に活用可能か?
 - どちらかと言えば、FA で培った技術が、車載に活かされている。
 - 車載と異なり、FA 分野では少量短納期を追求することで付加価値を提供するビジネスモデルとしたい。

以上